

HeLa 細胞、HCT116 細胞

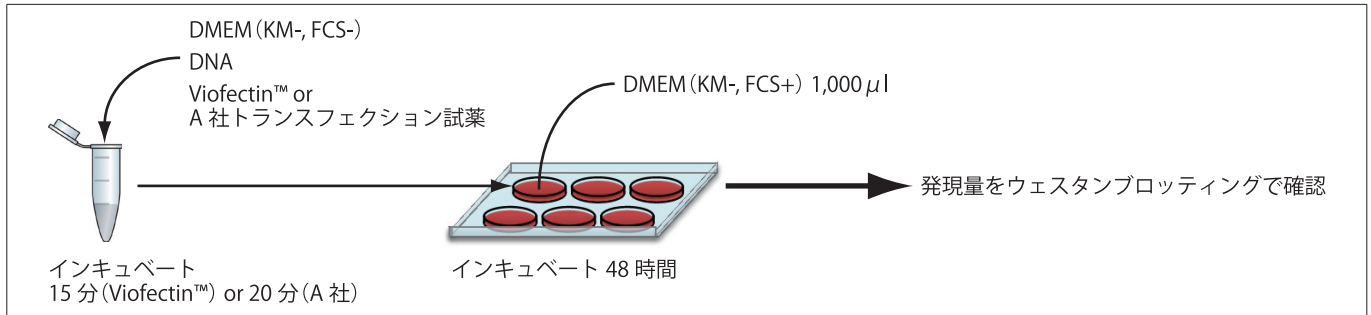
データご提供：九州大学大学院 薬学研究院 医薬細胞生化学分野

使用製品：Viofectin™ Transfection Reagent

評価方法：ウェスタンブロッティング ※他社製品比較あり

■ 実験概要

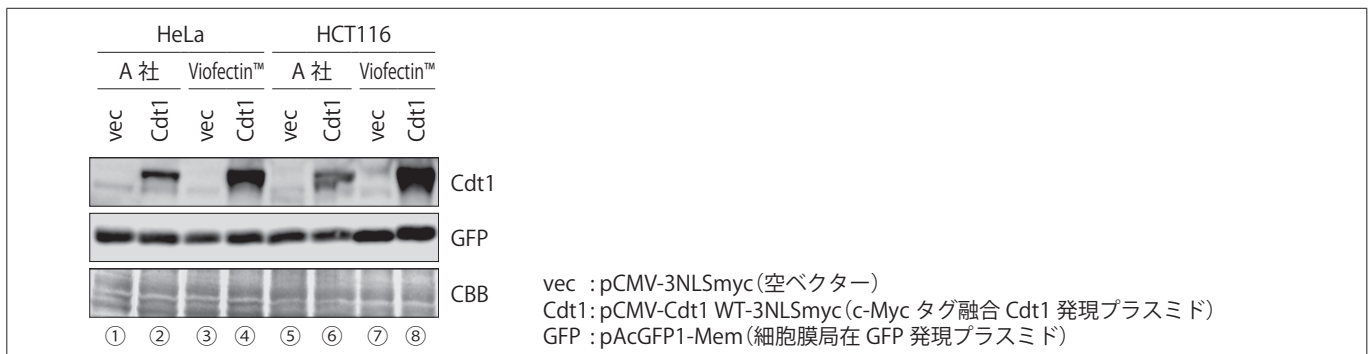
Viogene 社トランスフェクション試薬 Viofectin™ および A 社トランスフェクション試薬の性能を試験するために、HeLa 細胞および HCT116 細胞に GFP 発現プラスミドおよび c-Myc タグ融合 Cdt1 発現プラスミドを導入し、発現量をウェスタンブロッティングで確認した。



DNA / トランスフェクション試薬混合液の組成

	細胞名	DMEM (KM-, FCS-)	トランスフェクション試薬	DNA	
①	HeLa	200 μl	A 社トランスフェクション試薬 2 μl	pCMV-3NLSmyc	1.9 μg
②				pAcGFP1-Mem	0.1 μg
③		120 μl	Viofectin™ 2 μl	pCMV-Cdt1WT-3NLSmyc	1.9 μg
④				pAcGFP1-Mem	0.1 μg
⑤	HCT116	200 μl	A 社トランスフェクション試薬 2 μl	pCMV-3NLSmyc	1.9 μg
⑥				pAcGFP1-Mem	0.1 μg
⑦		120 μl	Viofectin™ 2 μl	pCMV-Cdt1WT-3NLSmyc	1.9 μg
⑧				pAcGFP1-Mem	0.1 μg

■ 実験結果



■ 使用者の評価

ウェスタンブロッティングで発現量を確認した結果、Viofectin™ は HeLa 細胞および HCT116 細胞に対して A 社トランスフェクション試薬と同等もしくはそれ以上の導入効率を示した。